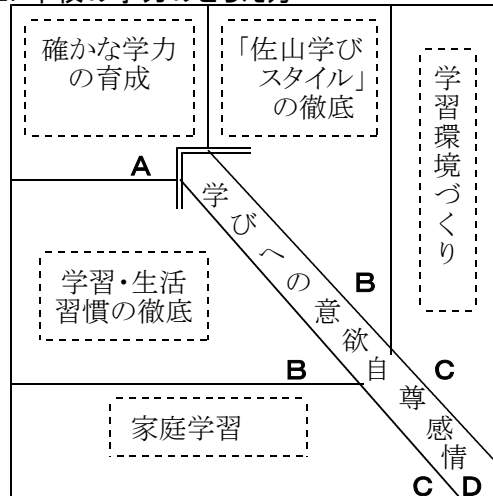


我が校の学力向上策（平成30年度 甲賀市立佐山小学校）

1. 本校の学力向上に関わる課題

○自ら考え、主体的に判断・行動したり表現したりする力がつきつつあるが課題もある。
 [全国学力・学習状況調査から見える課題]
 ○国語科……根拠をもとに考えを書いたり、文章全体の内容をとらえ文を比較して読み取ったりすることが苦手である。
 ○算数科……数量関係(単位量あたりの大きさ等)や、それを活用して比べたり、判断したりすることが劣っている。
 国語B・算数Bともに記述する問題での回答に間違いが多い。
 ○学習状況調査……「自尊感情」がやや弱い傾向がある。将来の夢や目標を抱いている子や新聞、ニュースなどに関心をもつ子が増えてきているが、一部の児童に限られている。テレビ視聴やゲームの時間が長い。

2. 本校の学力のとらえ方



3. 学力向上へのアプローチ

(1) A・「確かな学力の育成」

- 自ら課題を解決できる子どもの育成
 - ・国語科を中心とした『予習学習』を通じた、佐山学びスタイル(問題解決学習)の実践。
 - ・国語科での佐山学びスタイル(問題解決学習)の定着と深化を図る。
 - ・予習学習をもとに授業展開を図り、家庭学習と授業のつながりを付けていく。
 - ・ペア学習やグループ学習、全体交流を通して学び合いのある学習を展開する。
 - ・全ての教科で「こうか授業術五箇条」を取り入れた「佐山学び」のスタイルを確立し、授業改善を図り学び合いを通して「主体的・対話的で深い学び」をめざしていく。

(2) B・「佐山学びスタイルの定着」と「学習・生活習慣の徹底」

- 基礎・基本の定着
 - ・朝の学習(計算練習、漢字練習、読書、朝の歌唱)の実践
 - ・毎月読書週間を設定し、じっくり本に向かう時間を設ける。月1回は教師やボランティアによる読み聞かせを行う。また、『読書通帳』の取組を強化し、一人50冊読破を目指す。
 - ・3年生以上は国語辞典、1、2年生は『こどもことば絵じてん』を活用し言語の獲得を充実させる。
 - ・日記指導を含め、書くことを充実させる。児童の日記や作文を学校掲示板に掲示し、年間を通して多くの児童の作文を紹介する。
 - ・個に応じたきめ細かな指導の工夫
 - ・放課後学習の取組
 - ・詩の暗唱や算数チャレンジの取組
 - ・百人一首、カルタ大会の継続
- 学習・生活習慣の徹底
 - ・学習のルール(話し方・聞き方、姿勢、学習用具、学習の構え等)、生活のルール(あいさつ・清掃・後始末、うがい・手洗い、時間の過ごし方、給食、生活のリズム等)の指導の徹底、
 - ・読書の習慣化の推進
 - ・家庭学習の推進(学年の日安…低学年30分・中学年45分・高学年60分、学習ノートの工夫)

(3) C・「学習環境づくり」と「家庭との連携」

- 学習環境づくり
 - ・学習意欲や関心をたかめる廊下掲示や教室経営・整理、整頓された学習環境
 - ・心を潤す「FBC学校花壇」とその活動の推進
 - ・学校図書館の整備と活用・子ども新聞購読
 - ・言語環境の改善と「正しい表現」の指導
 - ・児童への支持的風土の醸成

○家庭との連携

- ・子どもの元気を育む各家庭との細やかな連携(連絡ノート・面談)
- ・校報、学年通信、学力向上だよりでの学習状況の発信

(4) D・学びの意欲・自尊感情を高める

- ・「あいさつ日本一宣言」の取り組みを通して、学びに向かう意欲へ繋げていく。
- ・毎月1回の校内人権の日を設定し、エンカウンターを行い、ソーシャルスキルやアサーティブな行動について学ぶ。

4. 学力向上策の検証

- ・「学校評価(児童・教師)」の調査結果の活用
- ・学力状況調査の利用(5年生で前年度の問題の実施・職員研修での活用)
- ・国語科を窓口とした研究授業(校内研究)による検証
- 一人一授業の公開
- 研究会の実施